

歸の相談コーナーだより

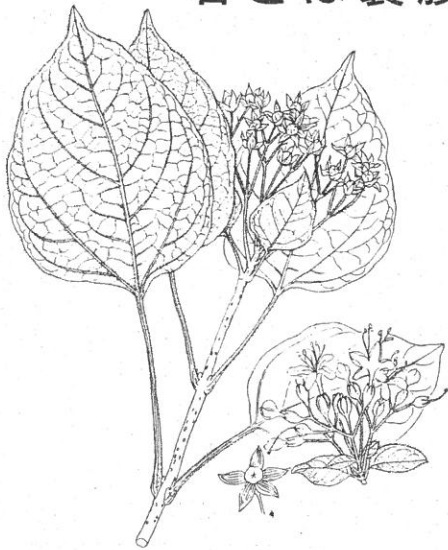
NO. 339 2013. 9 . 1 発行

岩見沢市志文町 794 番地

いわみざわ室内公園「色彩館」

身近な樹木 “クサギ” (常山木・臭木)

～名とは裏腹に花は芳香を漂わせる木～



Clerodendron trichotomum THUNB.
クサギ

クマツヅラ科クサギ属の落葉性の小高木で、日本各地や台湾、朝鮮半島、中国などの暖温帯に広く分布し、本道では南部の山野に普通に見られます。変種のアマクサギは花が大きく、葉先のとがるショウロウクサギは、ともに悪臭がありません。樹高は、まれに8～9mに達しますが、一般には3mほどになります。枝や葉を傷つけると悪臭を放ちますが、秋口頃に枝先に咲かせる径2cmほどの白い花は、よい香りを一面に漂わせます。この花は、基部が筒状で先が細く5裂し、長い蕊が突き出す独特の花の形で、紫色の萼とのコントラストもよく、美しく映えます。果実は球形で、光沢のある碧色から後には

紫碧色となり、初冬に完熟します。

植物名の由来ですが、クサギは生の枝葉に強い臭気があることから名づけられたものです。アマギ、アマクサギなどの方言名でも呼ばれています。

この樹木の用途は、材は下駄や薪炭として用いるほか、沖縄では材からイカの疑似餌をつくります。また、新芽や新葉を蔬菜のように食用としたり、佃煮などにも適します。なお、葉にはヨトウムシの摂食阻害物質であるクレロデンドリンAが含まれ、ただれ、皮膚病薬として外用したり、煎汁を家畜のシラミ駆除に用います。根皮には利尿、健胃作用があります。なお、果実は染料とされます。また、わが国では砂防地を安定させるための緑化樹として植栽されますが、欧米では観賞用の植物として栽培されます。

栽培するときには、秋期から初冬にかけて成熟した果実を採種し、直ちに果肉を洗い去って採り播きします。あまり土壌を選ばない樹種ですが、陽樹ですので日当たり

のよい場所に散播します。発芽後は、十分陽光が当たるように育苗管理を行います。また、播種床や育苗床が乾燥した時には、時々散水しましょう。なお、地中から地表面に現れた萌芽苗は落葉期に掘りあげて移植すると立派な苗が得られます。

うなで
海手より暮れしづむ日や花臭木 松村蒼石
行き過ぎて常山木の花の匂ひけり 富安風生

バラ園

公園だより



立秋が過ぎた後も、異常な暑さと干天の日々が続き、8月のバラ園は花の日持ちが悪く、花色や香りも今ひとつ物足りない感じでした。また、園芸好きの皆さん方には、家庭菜園の野菜や植物の管理に大変な苦労をされたことと思います。しかし、今月は暑さの季節も過ぎて、バラ達もホット一息といったところです。朝晩の冷涼な気候が、夏バテ気味だったバラに生氣を取り戻させ、初夏の一番花の魅力をしのぐ、美しい秋バラの季節を迎えさせてくれます。凜とした気品に満ちた九月のバラが微風に揺れる姿は、見る人の心を虜にします。今月はぜひバラ園に足を運んで頂き、秋バラの花色と香りを堪能して頂きたいと思います。

♥ 今月のバラ園からの一口メモは、バラの病害虫対策に当たっての基本についてです。バラの主な病気としては、黒星病、うどん粉病、べと病、灰色かび病、根頭がんしゅ病などがあり、害虫としては、アブラムシ、ハダニ、チュウレンジバチ、カイガラムシ、コガネムシ、スリップス、バラゾウムシなどがあります。これらの被害に合わないにするには、まずは病害虫の被害を受けにくく、被害にあってもすぐに回復する健康なバラづくりを心がけます。そのためには、バラに合った環境づくりと適正な施肥が大切です。ただし、弱ったバラにチッソ分の多い肥料を施すと、かえって病害虫を増加させる可能性もあります。また、株元付近の雑草なども病害虫のすみかになるので、こまめに取り除きます。芽が伸び、葉が繁ってきたら、定期的な予防薬の散布を行います。この場合、同じ薬剤を続けて使わず、成分の違う薬剤を数種類組み合わせて散布すると効果的です。薬剤散布は10日に一度、開花期は15日に一度、風のない晴れた日の午前中に行うのが理想的です。

色彩館では、タイサンボクの花も終わり、壁面のツルバラも少し淋しくなりました。でも今月は、クダモノトケイソウのエキゾチックな花が楽しめると思います。

南国温室では、極楽鳥花（ストレリチア・レギナエ）が独特の雰囲気をもった花を咲かせ、3尺バナナやパパイアの実も熟してきております。また、今年もパキラに実がつけました。南国情緒をたっぷりお楽しみ下さい。

相 談 日 記

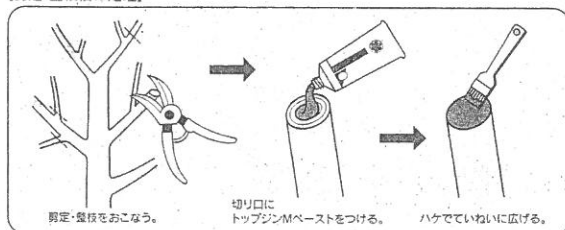
問 日本の国の花といわれるサクラですが、庭木としては勿論のこと、公園や河畔の堤、街路などいたるところで植栽されますが、その後の管理が悪いせいか、健全に育っているサクラは少ないようです。素晴らしいサクラの花を毎年楽しむためには、植栽後のメンテナンスが大切だと聞きましたが、日常管理のポイントと基本的な対策などについて知りたいのですが？

答 サクラの主な日常管理としては、大きく分けて①破損の対策②病虫害対策③その他の対策があります。①としては、枯れ枝や腐朽した枝の切除や胴吹き枝、徒長枝など不要な枝の切除がポイントの作業になります。管理方法の要点としては、腐朽の激しい枝は、幹または枝の付け根の生きている部分から切除し、切り口にはトップジンMペーストなどの殺菌癒合剤を塗布します。腐朽の軽微な枝は、その枝の健全な部分で切り、切り口には同様の処置を施します。なお、不要枝の切除は必要最小限にとどめ、切断後は同様の処置を施します。なお、樹幹の一部分が腐朽して子実体（キノコ）が発生しているような場合はキノコを取り除きます。腐朽した箇所不定根の発生がある時は、その保護を優先するような処置法を検討しましょう。

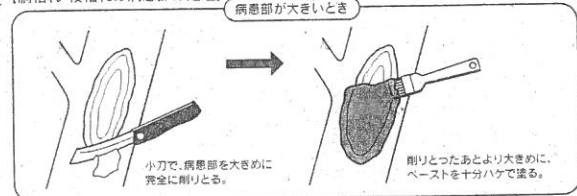
②の病虫害の防除に対しては、定期的に巡回調査をすることが大切です。特に、てんぐ巣病やこぶ病など、伝染力のある病気が発見された場合には、罹病枝の根元を切断して、殺菌癒合剤を塗布し、被害枝は焼却しましょう。食葉性害虫については、定期的に巡視して、早期発見、早期防除に努めることが肝腎です。コスカシバなどの穿孔性害虫の駆除は、幼虫が幹の内部に入り込むと防除が困難になるので、発生および産卵時に幹に薬剤を散布します。

③としては、肥培管理や通行に障害となる枝の切断などがあります。毎年花が終わったら、有機質入りの化成肥料を主体に肥料を施しましょう。また、支障枝の切断に当たっては、幹に沿って、あるいは枝の分岐部から行い、切り残しをさけ、腐朽がおきないように、切り口には殺菌癒合剤を塗布します。

【剪定・整枝後の処理】



【胴枯れ・枝枯れの病患部の処理】



ひととき鮮明な青色の花～ツユクサ 花言葉 密かな恋



ツユクサは、どこにでも生えている1年草ですが、他の色を交えないこれ程青い花は珍しく、細めの茎や葉とも相性がよいので、茶花などにも用いられます。ツユクサ科ツユクサ属で、アイバナの別称があるとおりの、花の青い汁は染料として使われています。日本名の露草は、露を帯びた草の意味で、朝露をつけた姿から付けられたといわれます。また、花びらを直接すり付けて布を染めたところから、古名を「着き草」ともいい、大形の苞があるので、帽子花の名やアオバナ、うつくしぐさ、月草などの名前でも親しまれています。これほど誰もが知っている野草は少なく、食用としても、若葉を、塩を入れた熱湯で茹で、冷水に取ってあく抜きし、生姜醤油であえたり、花を、酢を落とした湯で茹でた後、あえ物にします。育てる場合、特別な手入れの必要はありませんが、あまり乾燥させないようにします。一年草ですが、一度根づけば毎年生えます。放任するとはびこりますので、庭植は注意しましょう。

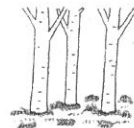
9～10月の園芸講座・行事案内

市民園芸講座の内容紹介

♣天然色のバラ押し花を楽しむⅠ

日時 9月 1日(日) 13:00～15:00

講師 押し花アーティスト 宇田川 静子 さん 定員 40人 材料代Ⅰ・Ⅱで



♣天然色のバラ押し花を楽しむⅡ

2,600円

日時 9月 8日(日) 13:00～15:00

講師 押し花アーティスト 宇田川 静子 さん 定員 40人



♣楽しいキノコの見分け方

日時 9月 22日(日) 13:00～15:00

講師 北海道自然保護協会 伊達 佐重 さん 定員 40人 参加料 無料

♣冬支度を始めた岩見沢公園の植物観察

日時 10月 6日(日) 9:30～12:00

講師 山野草研究家 北本 毅 さん 定員 40人 参加料 無料

編集・発行 北海道グリーンランド(空知リゾートシティ株式会社)

お問い合わせは 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー 25-6111 まで